



SPORTY DRIVING PARTS

MS341-5200#

フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
 本書は上記TRDフロントスポイラーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
 取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施して下さい。
 なお、本書は必ずお客様にお渡し下さい。

本商品は、車両登録後に取付けを行って下さい。
 登録前に取付けを行った場合、持込みの新規検査が必要となります。

□品番・適合一覧表

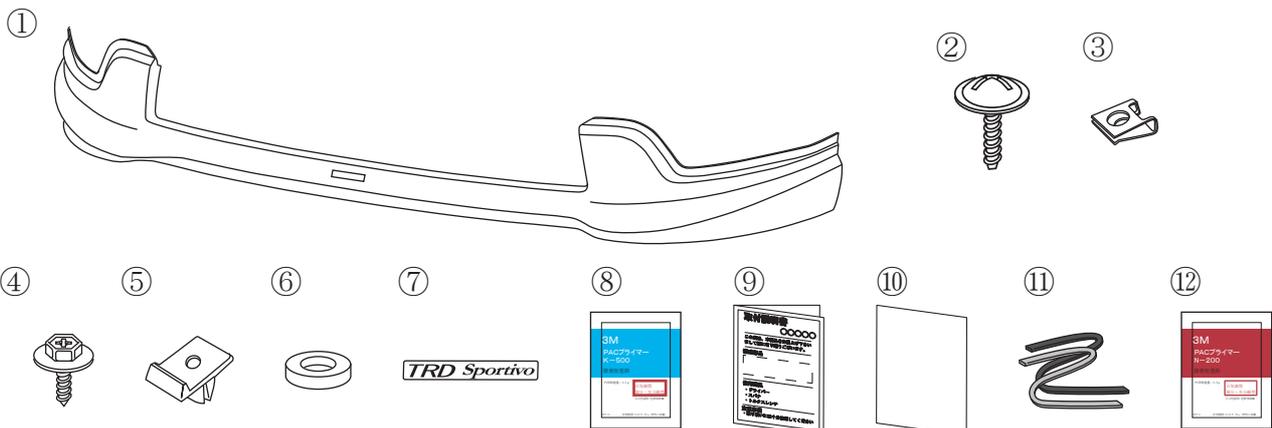
品番	適合車種	型式	年式	色/備考
MS341-52001	イスト	ZSP110 NCP110 NCP115	'07.7~	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)
MS341-52002				シルバーメタリック (1E7)
MS341-52003				ブラックマイカ (209)
MS341-52004				素地 (プライマー処理品)

(※純正用品フロントバンパースポイラーと同時装着不可)

最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<<http://www.trdparts.jp/>>

□構成部品一覧表

No.	品名	品番	個数	備考
①	フロントスポイラー	MS341-5200#	1	
②	タッピングスクリュー		2	M5×16
③	Jナット		2	
④	タッピングスクリュー		4	M6×16
⑤	グロメット		4	
⑥	ワッシャー		2	
⑦	エンブレム		1	
⑧	パッキンプライマー(青)		1	K-500
⑨	取付・取扱説明書		1	
⑩	型紙		1	
⑪	モール		(各1)	黒/グレー 素地品のみ
⑫	パッキンプライマー(赤)		(1)	素地品のみ N-200



■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守りいただきたいことなどを次のマークで表示しています。

 警告	記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災に及ぶか、最悪の場合、死亡につながるおそれのあること。
 注意	記載事項を守らないと、事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するおそれがあること。

- △ 注意(1) 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施して下さい。
- △ 注意(2) 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行って下さい。
- △ 注意(3) 本製品を装着すると車両寸法が変更になりますが、各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし、適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によってはその限りでない場合があります。
- △ 警告(4) 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後、行って下さい。不安定な場所で作業、車が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
- △ 注意(5) エンジンルーム・マフラーなどの付近で作業を行うと、ヤケド等の重大な損害の原因となります
- △ 注意(6) 本商品は過去に事故歴のない車に確実に装着できます。
- △ 注意(7) 本商品到着後はすぐに、本体に破損がないこと、付属品が全て揃っていることを確認して下さい。
- △ 注意(8) 素地品(品番MS341-52004)は未塗装のため、車両の塗装色に合わせた塗装が必要になります。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定して70℃以下で乾燥させて下さい。
- △ 警告(9) 焼付け塗装の際に、焼付温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが生じますので、焼付温度には充分ご注意下さい。
- △ 警告(10) 本商品への改造・加工は絶対に行わないで下さい。破損や事故の原因となります。
- △ 警告(11) 本商品を適合車種以外には絶対に使用しないで下さい。破損や事故の原因となります。
- △ 注意(12) 外気温度が15℃以下の場合は両面テープの接着力が低下しますので、接着作業の際、接着テープおよびバンパー面をドライヤー等で暖めて取り付けて下さい。
- △ 警告(13) 取付けの際は、指定トルクに従って各ボルト・ナット類を十分に締付けて下さい。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが生じ、脱落等により重大な事故の原因となります。
- △ 注意(14) 装着初期は、ボルト・ナット類が緩みやすいので、数km走行後かならず増締めを行って下さい。
- △ 警告(15) 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談下さい。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
- △ 警告(16) 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用をお止め下さい。
- △ 警告(17) 走行中に異常な振動や音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けて下さい。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
- △ 警告(18) 本商品は基本的に舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止め下さい。
- △ 警告(19) 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては充分にご注意下さい。
- △ 注意(20) お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないで下さい。変色・変形の原因となります。
- △ 注意(21) 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないで下さい。
- △ 注意(22) 取付作業や走行にともない、車両本体または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。上記の事項と本書の装着手順を必ずお守り下さい。

□組付要領

1. モールの貼付(未塗装品のみ)

- (1) 塗装後、図1のようにフロントスポイラー①に、モール①の両面テープの離型紙を剥がし、貼付ける。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モール①を貼付ける部分は、アルコール等で脱脂後にプライマー赤⑫を塗布して下さい。脱脂・プライマー塗布後は十分に乾燥させて下さい。

□取付要領

1. 車両部品の取外し

- (1) 車両修理書を参考にし、ジャッキアップを行う。
 (2) 図2のように、フロントバンパーホイールハウス側下面の車両タッピングスクリュー(2箇所)を取外す。

△注意：取外したタッピングスクリュー、は再使用しますので、無くさない様に必ず保管して下さい。

2. 取付け穴加工

- (1) 図3のようにホイールハウス部の止め点座面下側の角から110mmの所に目印をつける。
 (2) 図3のように目印からバンパー端末に対して垂直に7mmの所に刻印する。
 (3) 図3のようにφ3、φ6のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつける。
 (4) φ3のドリルを使用してホイールハウスの刻印位置(2箇所)に下穴をあける。

👉 **アドバイス**：穴あけ加工時は、ドリルはホイールハウスに対して垂直にし、刻印位置からズレないように注意して下さい。

△注意：作業時は保護手袋および保護メガネを着用して下さい。

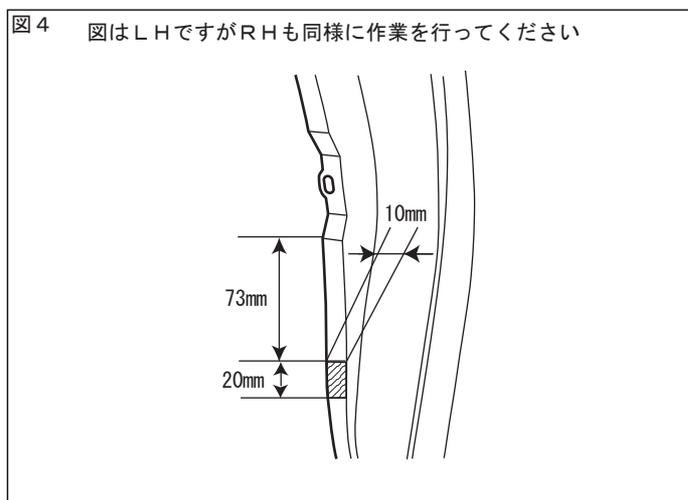
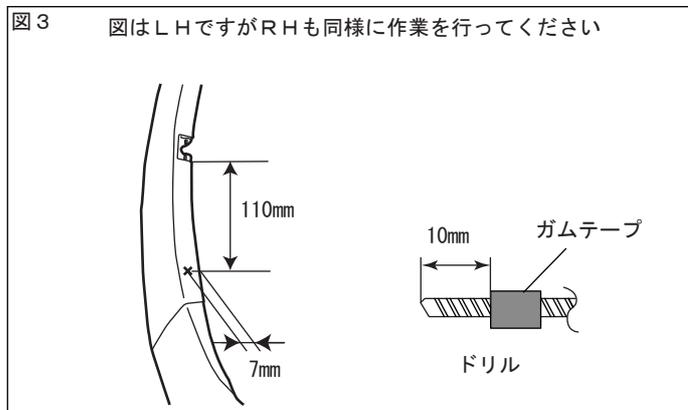
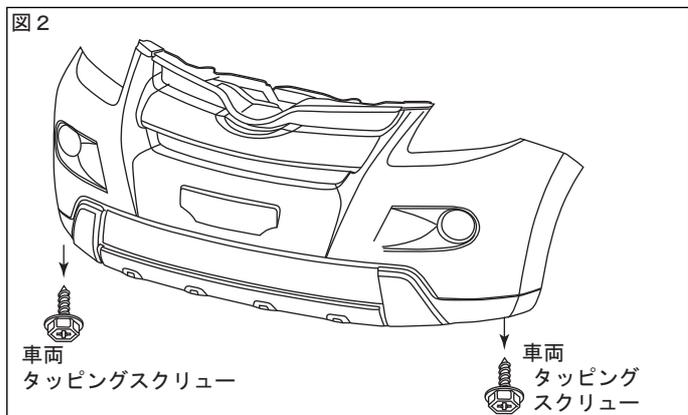
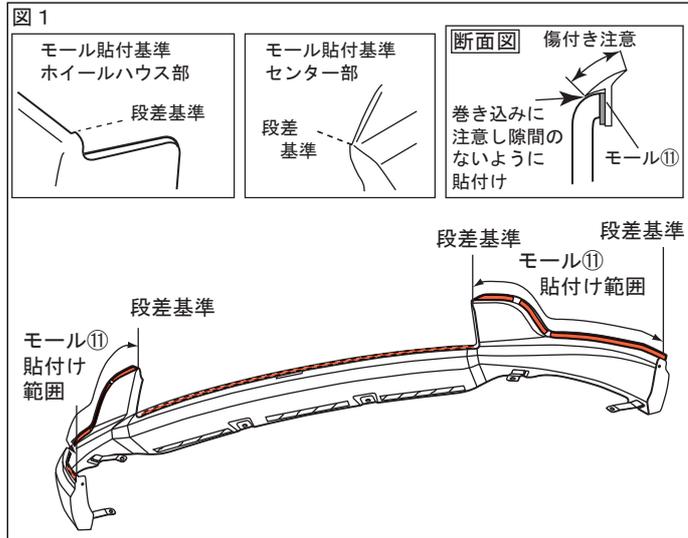
- (5) 下穴(2箇所)にφ6のドリルで穴をあける。
 (6) 穴のバリを取り除く。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きにならないように注意してヤスリ等で取り除いて下さい。

3. フェンダーライナーの加工

- (1) 図4のようにフェンダーライナーの座面の下側から73mmの所から下に20mmまでの部分を10mmの幅でニッパーなどで切り取る。(斜線部)

△注意：フェンダーライナーの加工を行わないとタッピングスクリューと干渉します。



4. 取付穴刻印

- (1) 図5のようにフロントバンパーのホイールハウスの穴あけをした場所に、Jナット③をはさむ。(2箇所)

⚠注意：図のようにJナット③の差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリュー②が取付かなくなります。

👉アドバイス：Jナット③が緩い場合はプライヤー等でつぶして使用して下さい。

- (2) フロントスポイラー①をフロントバンパーにかぶせ下面のブラケット両端2箇所を車両タッピングスクリューにて、ホイールハウスをタッピングスクリュー②で仮止めする。
- (3) フロントスポイラー①の下面中央の取付穴とブラケット取付穴の中心をマーキング(4箇所)する。
- (4) フロントスポイラー①の下面中央の取付部の端末とブラケットの端末をマーキング(4箇所)する。
- (5) フロントスポイラー①を取り外す。
- (6) 型紙⑩A・Bを切り抜く。
- (7) 図7のように型紙⑩A・Bをそれぞれマーキングした位置を基準に、フロントバンパーに対して垂直に合わせて、(3)で実施したマーキングの位置が合っていることを確認する。

5. 取付け穴加工

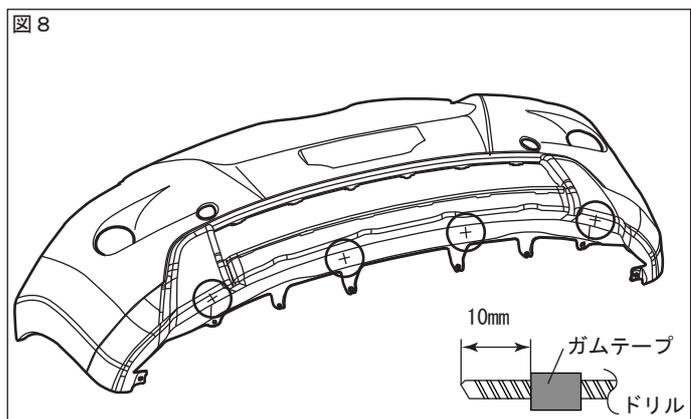
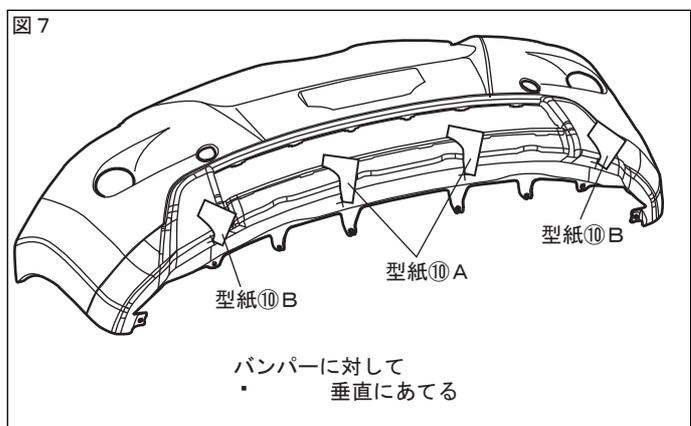
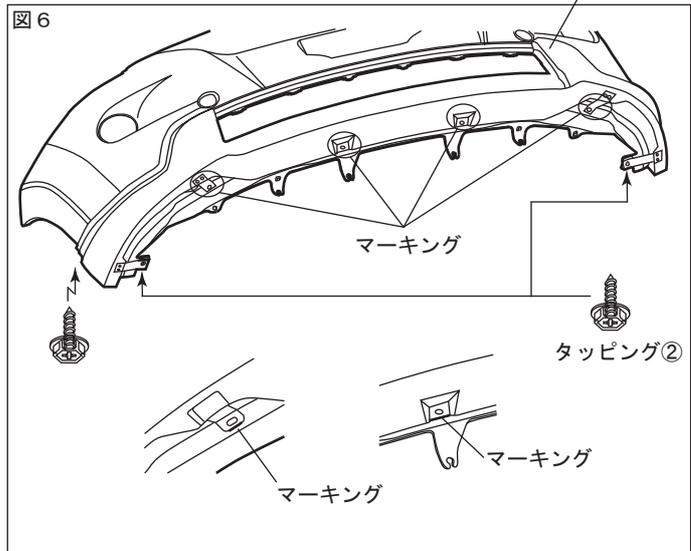
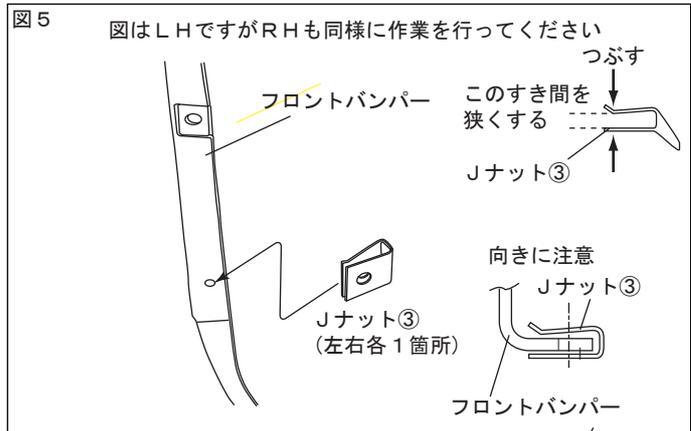
- (1) 図8のようにφ3、φ10のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつける。
- (2) φ3のドリルを使用してフロントバンパー下面のマーキング位置(4箇所)に下穴をあける。

👉アドバイス：穴あけ加工時は、ドリルをフロントバンパーに対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意して下さい。

⚠注意：作業時は保護手袋および保護メガネを着用して下さい。

- (3) 下穴(4箇所)にφ10のドリルで穴をあける。
- (4) 穴のバリを取り除く。

⚠注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いて下さい。



6. 取付け準備

- (1) 図9のようにフロントバンパーの下面に穴あけした場所に、グロメット⑤をマーキングにリブを合せてはめる。(4箇所)

⚠注意：図のようにグロメット⑤をはめる向きに注意して下さい。向きを間違えるとブラケットを固定することが出来なくなります。

- (2) 図9のようにフロントバンパーのホイールハウス下面の車両止め点にワッシャー⑥を貼り付ける。(2箇所)

- (3) 図10のようにフロントバンパーのフロントスポイラー①の取付部の汚れを取り除き、アルコール等で脱脂する。

- (4) 脱脂後、図10のようにフロントスポイラーの中央部にプライマー青⑧を塗る。

⚠注意：両面テープ接着面以外にプライマー青⑧がつかないようにして下さい。変色する恐れがあります。

⚠注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているので、テープ面及び接着面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けて下さい。

- (5) フロントスポイラー①の両面テープの離型紙を、図11のように中央から外側に約3cm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(10箇所)

⚠注意：両面テープの離型紙を全て剥がしてしまうと正しい取付位置に取付けにくくなります。

7. 取付け

- (1) フロントバンパーにフロントスポイラー①を合わせ、ホイールハウスをタッピングスクリュー②(2箇所)で仮止めする。

- (2) 図12のように両端の下面ブラケットを、取外したタッピングスクリュー(2箇所)で仮止めし、中央部の取付穴とその脇のブラケットをタッピングスクリュー④(4箇所)で仮止めする。

- (3) フロントスポイラー①を図13の断面図を参考にバンパーグリルに乗り上げないように注意し、左右のズレ・スキが無いかを確認し、両面テープの離型紙を右図番号順にゆっくり剥がし、十分に圧着する。

⚠注意：両面テープの離型紙を外側から先に剥がすとスキが発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないで下さい。

図9

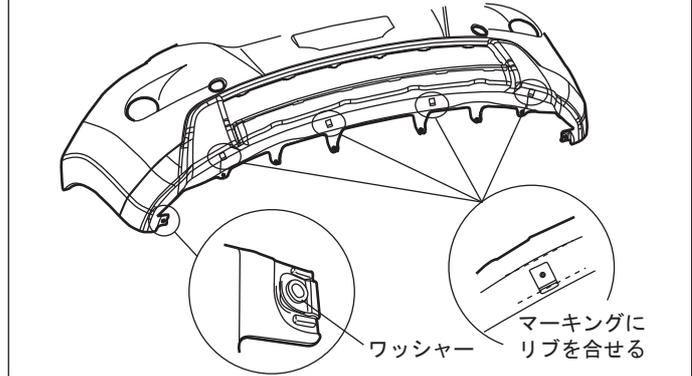


図10

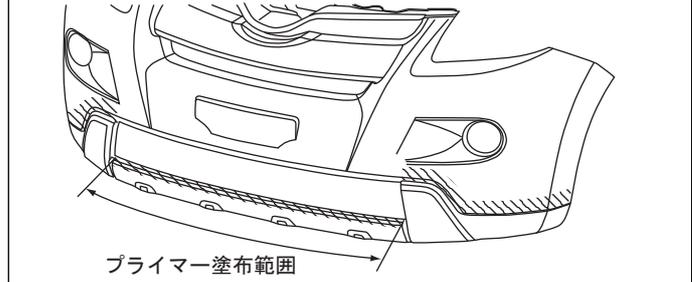


図11

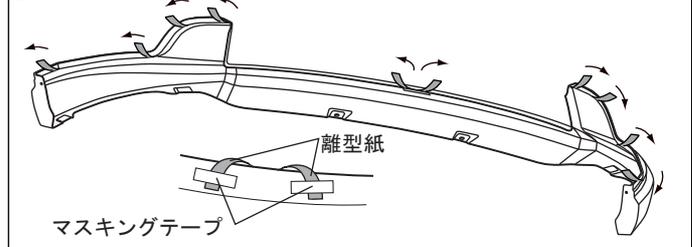


図12

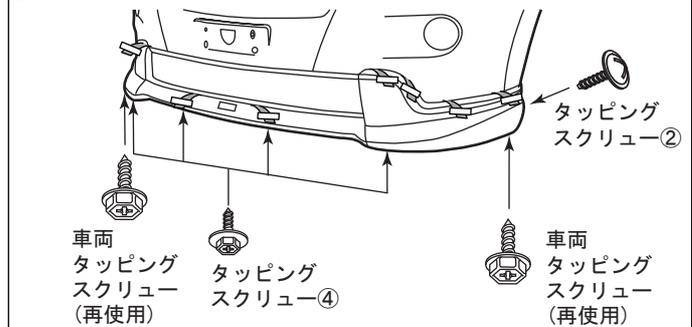
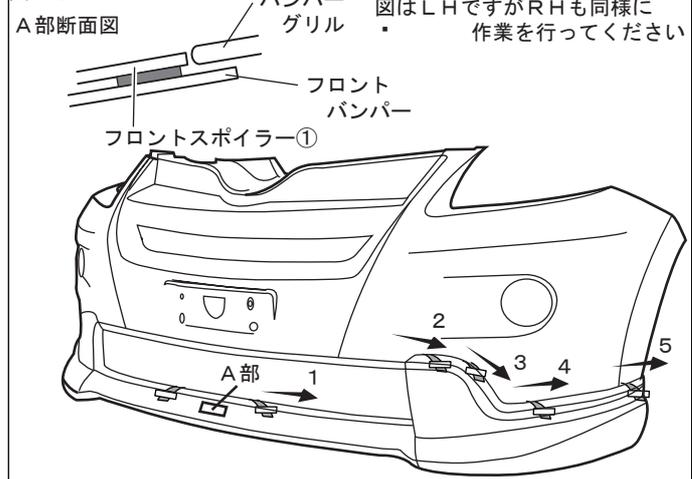


図13



- (4) フロントスポイラー①のホイールハウスの
タッピングスクリュー②(2箇所)と下
面の車両タッピングスクリュー(2箇所)
と下面のタッピングスクリュー④(4箇所)
を本締めする。
- (5) フロントスポイラー①の中央の座面の汚
れを取り除き、アルコール等で脱脂する。
- (6) 脱脂した座面にエンブレム⑦を貼付ける。

図14 図はLHですがRHも作業を行ってください

